

立憲民主党 さっぽろNEWS

札幌市議会第2回定例会【開会】

補正予算案など提出 定額減税しきれない人への給付金に58億円

札幌市議会第2回定例会が5月17日開会し、秋元克広市長は、61億900万円を追加する本年度一般会計補正予算案や市児童会館条例の一部を改正する条例案など議案22件を提出した。このうち、同日の本会議で、任期満了に伴い退任する檜田英樹教育長の後任に山根直樹総務局長を充てる人事案件に同意した。

補正予算案では、定額減税を巡り、減税しきれないと見込まれる人への補足給付金に58億200万円を計上。また、除排雪業務の労務単価上昇に伴う経費に2億4千万円、大規模国際会議や展示会に対応した「MICE(マイス) 施設」の建設に向けた現状分析や規模などの概要検討に1,900万円を盛り込んだ。補正後の一般会計総額は1兆2,956億1,900万円。

児童会館条例の一部改正案は、新たな児童会館を義務教育学校定山溪学園に併設するもの。札幌市教委は、定山溪地区の小学校と中学校を再編し、定山溪中



提案説明を行う秋元市長

学校の敷地に義務教育学校として新校舎を整備する計画を進めており、25年4月の開校を予定。児童会館との複合化を図る。

第2回定例会の会期は6月4日までの19日間。民主市民連合の代表質問は今月27日、おんむら健太郎市議(清田区)が登壇する予定。

立憲民主党北海道

北海道新幹線札幌延伸に関する緊急要請

立憲民主党北海道(逢坂誠二代表)は5月14日、北海道新幹線の新函館北斗-札幌間を建設している鉄道建設・運輸施設整備支援機構が2030年度末の開業が遅れると表明したことを受けて、同機構と国土交通省に対し、「北海道新幹線札幌延伸に関する緊急要請」

を行った。

要請では、「開業遅れの影響は広範かつ甚大」と指摘。①新たな開業時期を先送りすることなく、できるだけ早く示すこと②地域社会や北海道経済への影響を最小限にとどめるよう配慮すること③現場の安全と環境



への配慮をしつつ、一日も早い工事の完成を目指すこと④工事進捗や開業時期などについて、関係自治体やJR北海道などへ丁寧な説明を行うこと⑤2030年度末の札幌延伸に合わせて経営自立を目指してきたJR北海道に対して、支援の継続・充実と柔軟な監督・対応を行うことを求めた。